

お客様の夢を叶えるベストパートナーバンク



2009

十六銀行ミニディスクロージャー誌

平成21年3月期 営業のご報告

(第234期:平成20年4月1日~平成21年3月31日)

TM & © Turner Entertainment Co.
(s09)



いつも身近に

十六銀行

ごあいさつ・基本理念

平素より十六銀行をご利用、お引き立ていただき、誠に有難うございます。皆様に当行の営業の概況や平成21年3月期決算の状況をご理解いただくため、ミニディスクロージャー誌を発刊いたしました。

さて、金融機関を取り巻く環境をみますと、世界的な景気低迷が長期化の様相を呈するなか、地域経済の先行きは依然として不透明な状況にあり、今後も厳しい経営環境が続くものとみられます。

このような状況下、当行は、地域金融機関として、地域のお取引先からの様々なニーズにお応えしていくなかで、従来に増して収益力を高め、お客様からの信頼を確固たるものとすべくさらなる健全性の向上に努めていかなければなりません。

かかる課題に対し、当行は、本年4月より、平成21年度から平成23年度までの3カ年を計画期間とする「第11次中期経営計画～お客様の夢を叶えるベストパートナーバンクへの挑戦～」をスタートいたしました。本計画に基づき、金融サービス業としてお客様の夢の実現をお手伝いするなかで、“お客様との生涯にわたる強固なパートナー関係を構築することにより、いかなる環境下においても持続的な成長を成し遂げることができる銀行”を目指し、一層の収益力向上に努めてまいります。また、お客様からの信頼確保のためには、お客様との最大の接点である営業現場で品質の高いサービスを提供することが不可欠であり、人材育成、業務品質の向上、コンプライアンスの徹底等により、現場の力が最大限発揮される態勢を構築してまいります。加えて、各種リスク管理の徹底を図るなど内部管理態勢を充実させ、環境変化に耐えうる揺るぎない経営基盤の確立に向け、努力してまいります。

当期の業績は、極めて遺憾な結果となりましたが、こうした取り組みを通じて、平成21年度には業績回復を実現するとともに、将来にわたる継続的かつ着実な発展を目指し、企業価値向上に邁進してまいります。

皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月



取締役頭取
堀江 博海

基本方針



十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する。

十六銀行は広い視野に立ち、つねに合理性を貫き堅実な経営により発展をはかる。

十六銀行はすべての職員が安定した生活ができるよう努力する。

経営方針



頼りにしていただける銀行
充実した銀行
行動する銀行

当行の概要

創立	明治10年10月
本店所在地	岐阜市
営業店舗数	本支店136か店 出張所12か所
店舗外ATM数	232か所
資本金	368億円
従業員数	2,896名
預金残高	3兆7,456億円
貸出金残高	3兆560億円

(平成21年3月31日現在)

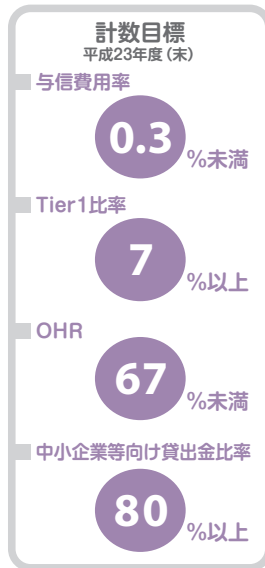
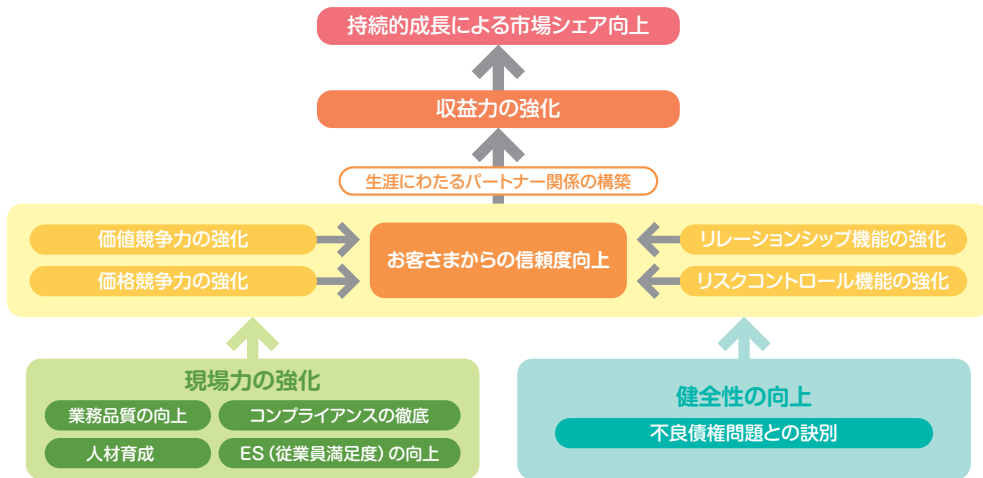
第11次中期経営計画

お客さまの夢を叶えるベストパートナーバンクへの挑戦

平成21年度から平成23年度までの3カ年を計画期間とする「第11次中期経営計画～お客さまの夢を叶えるベストパートナーバンクへの挑戦～」をスタートさせました。

本計画により、金融サービス業として、お客さまの夢の実現をお手伝いするなかで、お客さまとの生涯にわたる強固なパートナー関係を構築することにより、どのような厳しい環境下においても、持続的な成長を成し遂げることができる銀行を目指してまいります。

お客さまとの生涯にわたるパートナー関係の構築により、
いかなる環境下においても持続的な成長が可能な銀行を目指します



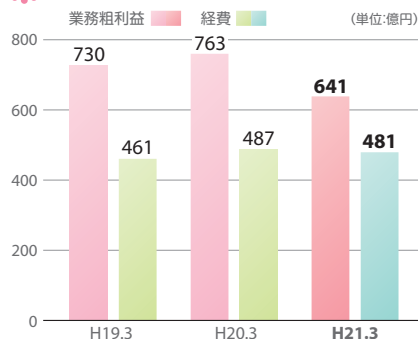
ごあいさつ・基本理念	1
第11次中期経営計画	2
業績ハイライト	3
当期の健全性	5
地域経済・地域社会への貢献	
～CSRの取り組み～	7
地域の皆様とのお取引状況	7
地域経済活性化活動	9

環境保全活動	12
社会貢献活動	13
トピックス	15
各種サービスに関するお知らせ	17
財務諸表(単体)	19
財務諸表(連結)	21
株式事務のご案内・株式の状況	22

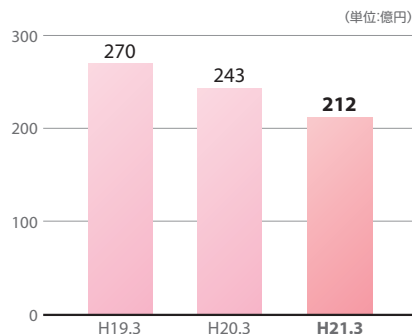


業績ハイライト

業務粗利益・経費



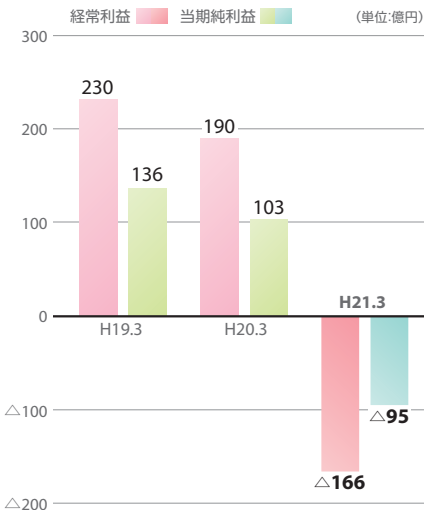
コア業務純益



平成21年3月期の決算

資金の効率的な運用・調達、役務取引の増強ならびに経営全般にわたる合理化の推進により、収益力の強化に努めましたが、米国発の金融危機に端を発した金融市場の混乱に伴い、有価証券関係損失を計上しましたことなどから、経常損失は166億円の損失となり、当期純損失は95億円の損失となりました。

経常利益・当期純利益



用語説明

業務粗利益

資金利益・役務取引等利益・その他業務利益を合計したものです。

コア業務純益

一般企業の営業利益に相当する業務純益から、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益を除いて算出され、銀行の本来業務から得られる利益をより正確に表す指標です。

経常利益

業務純益に株式の売却損益・償却および不良債権処理に要した費用等を加減したものです。

当期純利益

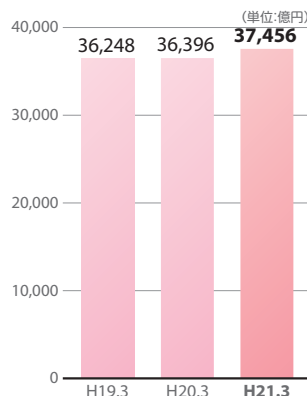
経常利益に特別損益および税金等を加減した最終的な利益です。



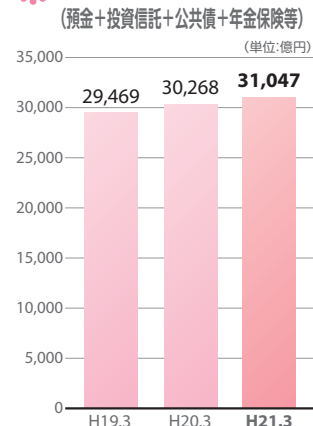
預金の状況

キャンペーン等の各種営業施策を通じて、低コストかつ長期安定的な資金の調達に努めるとともに、資産運用ニーズの多様化に的確にお応えするため、個人を中心に投資信託、公共債、年金・終身保険等の投資型商品の増強に努めました。この結果、平成21年3月末の預金残高は、前期比1,060億円増加の3兆7,456億円となり、個人預り資産残高は、前期比779億円増加の3兆1,047億円となりました。

預金残高



個人預り資産残高

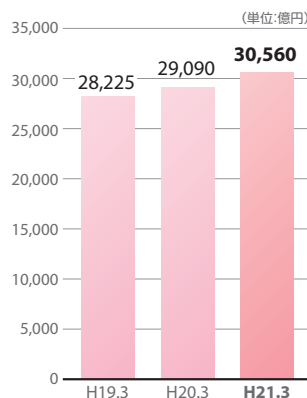


貸出金の状況

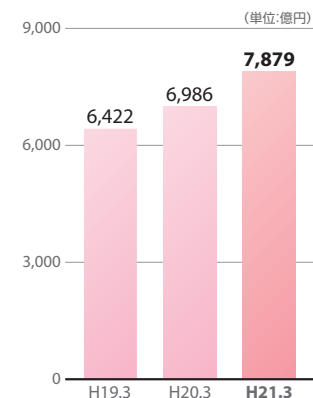
地域金融機関として中小企業に対する金融の円滑化を図るべく、地元企業の資金需要に積極的に対応するとともに、住宅ローンを中心とする個人向け融資や地方公共団体向け融資の取り扱いに努めました。この結果、平成21年3月末の貸出金残高は、前期比1,470億円増加の3兆560億円となり、3兆円台に達することができました。

住宅ローンなどを含む消費者ローン残高は、前期比893億円増加の7,879億円となりました。

貸出金残高

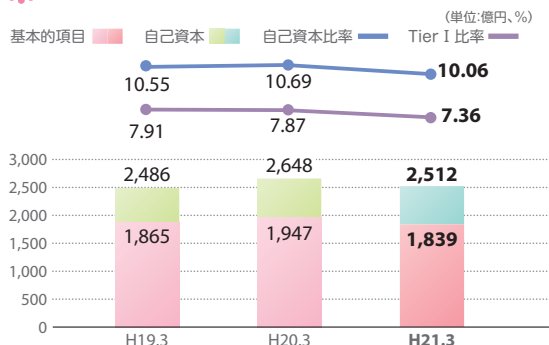


消費者ローン残高



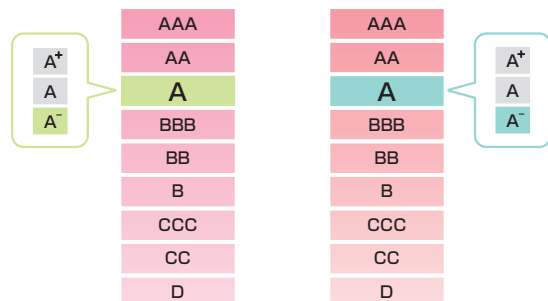
当行の健全性

❁ 連結自己資本比率



「連結自己資本比率」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

❁ 格付け (平成21年3月31日現在)



格付投資情報センター (R&I) スタンダード&プアーズ (S&P)

❁ 有価証券の評価損益(単体) (平成21年3月31日現在)

(単位: 億円)

	評価損益	評価益	評価損
株式	115	222	107
債券	44	48	3
その他	△111	5	117
合計	47	276	228

(注) 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。

連結自己資本比率

国内基準4%を大きく上回っています。

平成21年3月末の連結自己資本比率は10.06%と国内基準を大幅に上回っています。また、連結自己資本比率のうち基本的項目(Tier I)の比率は、7.36%となっています。

※自己資本比率…銀行の健全性を示す最も重要な指標の一つで、自己資本比率が高いほど健全性は高いといえます。なお、国内基準では4%以上を維持することが求められています。

格付け

上位ランクの格付けを取得しています。

当行は、資産の健全性を評価され、格付投資情報センター(R&I)、スタンダード&プアーズ(S&P)の2つの格付け機関から、それぞれ上位ランクの格付けを取得しています。

※格付け…企業が発行する債券等の元金金が約定どおりに支払われるか、あるいは企業そのものの健全度・信用度を簡単な記号で表したもので、第三者である格付機関が公正な立場から格付けを行います。

有価証券の評価損益

評価益があります。

有価証券については、金融商品会計に基づき、時価評価を実施しています。この結果、評価益と評価損を通算した評価損益は+47億円となっています。

不良債権の状況

「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律（金融再生法）」に基づく貸出金等の資産の査定結果は、右表のとおりです。

金融再生法に基づく資産の査定(単体)

(平成21年3月31日現在)

(単位:億円)

	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	正常債権	合計
貸出金等の残高(A)	303	733	119	30,239	31,394
担保等の保全額(B)	92	410	24		
引当額(C)	212	175	17		
(B+C)=(D)	303	585	41		
カバー率	100.0%	79.8%	34.2%		

(注)1.単位未満四捨五入

2.「金融再生法に基づく資産の査定」には、「貸出金」のほか、「支払承諾見返」、「自行保証付私募債」、「未収利息」、「仮払金」等を含みます。

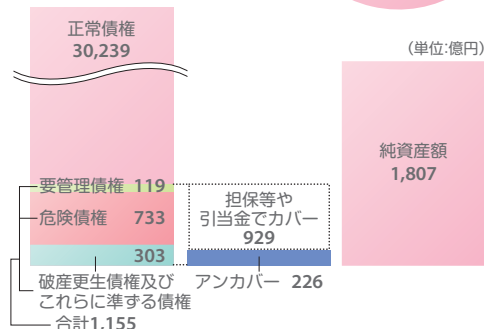
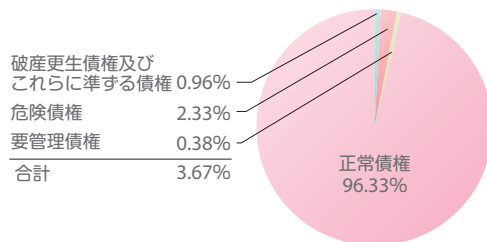
3.カバー率=(D)÷(A)×100

不良債権比率

不良債権比率は、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が0.96%、「危険債権」が2.33%、「要管理債権」が0.38%で、合計3.67%となり、前期比0.71ポイント低下しました。

不良債権に対する備え

金融再生法に基づく正常債権以外の債権は1,155億円となっていますが、その80.4%（929億円）が担保等や引当金でカバーされています。残りの19.6%（226億円）については、お取引先の経営状態から、直ちに引当を要するものではありませんが、将来の貸倒に対しても、当行の純資産の部合計額は1,807億円あり、これに与える影響は軽微です。



用語説明

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」を除く、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権



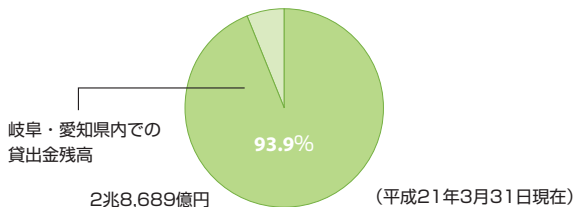
地域の皆様とのお取引状況

十六銀行は、岐阜県・愛知県を主要な地盤とする地域金融機関として、地域経済の活性化に積極的に取り組み、豊かで住みよい地域社会の実現に貢献したいと考えています。

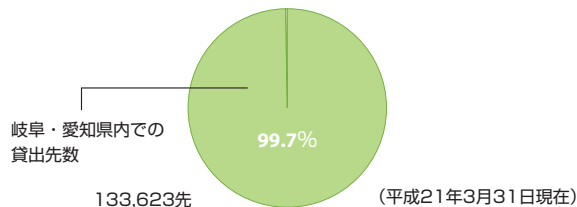
地域の皆様への貸出の状況

総貸出金残高に占める岐阜・愛知県内での貸出金残高割合は93.9%、総貸出先数に占める岐阜・愛知県内での貸出先数割合は99.7%です。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指します。

岐阜・愛知県内での貸出金割合 (岐阜・愛知県内での貸出金残高/総貸出金残高)

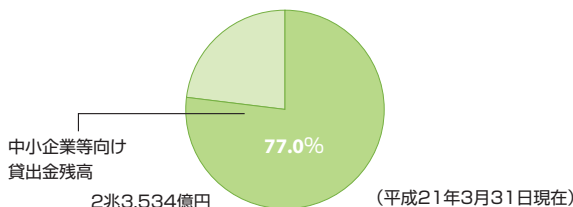


岐阜・愛知県内での貸出先の割合 (岐阜・愛知県内での貸出先数/総貸出先数)

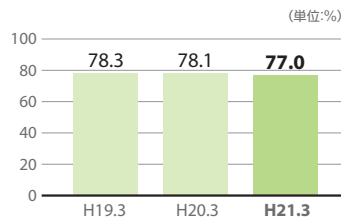


中小企業等向け貸出の状況

中小企業等向け貸出金割合 (中小企業等向け貸出金残高/総貸出金残高)



中小企業等向け貸出金割合の推移





業種別貸出金の状況

業種別の貸出先数、貸出金残高および岐阜・愛知県における貸出先数、貸出金残高は次のとおりです。

(平成21年3月31日現在)

業種	貸出先数(先)	岐阜・愛知県での	
		貸出先数(先)	貸出金残高(億円)
製造業	5,681	5,597	6,045
農業、林業、漁業	266	266	61
鉱業	34	33	37
建設業	3,915	3,911	1,748
電気・ガス・熱供給・水道業	54	51	227
情報通信業	237	233	178
運輸業	648	636	717
卸売・小売業	5,128	5,074	3,456
金融・保険業	122	99	735
不動産業	3,451	3,416	3,773
各種サービス業	5,623	5,573	3,377
地方公共団体	39	39	2,418
その他	108,774	108,695	7,783
合計	133,972	133,623	30,560

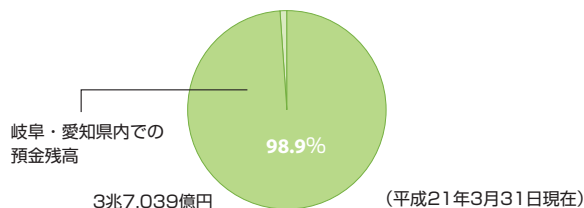
(注)記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

地域の皆様からのお預入れの状況

平成21年3月末時点での総預金残高3兆7,456億円のうち、岐阜・愛知県内での預金残高は3兆7,039億円であり98.9%を占めています。

岐阜・愛知県内での預金残高の割合

(岐阜・愛知県内での預金残高/総預金残高)





✻ 地域経済活性化活動

経営改善支援・事業再生支援への取り組みの状況

当行では、地域経済の活性化に向け、お客様との信頼関係を大切にしながら、財務状況の適切な分析や経営改善計画策定のためのアドバイスなど、経営改善支援活動を行っています。また、中小企業再生支援協議会や各種再生ファンドとの連携により、抜本的な再生スキームのご相談やご提案といった事業再生の取り組みも進めてまいりました。平成20年4月に設立された中小企業の再生支援を目的とする「ぎふ中小企業支援ファンド」においては、岐阜県中小企業再生支援協議会等と連携し継続的かつきめ細かい経営支援を実施しており、当行では経済の活性化や雇用確保を果たす目的で積極的に活用しております。さらに、業種別の専門性に特化した複数の外部機関やコンサルタント等、当行独自のネットワークを積極的に活用することにより、スピード感をもった事業再生支援を図っております。

取引先企業活性化に向けての活動

当行では、取引先企業の様々な経営課題に対し最適なソリューションを提案し、企業のライフサイクルに合わせ付加価値の高いサービスを提供するよう努めています。シンジケートローンや私募債等多様な資金調達の方法を提供するとともに、創業期のベンチャー支援組織「NOBUNAGA21」による投資活動、株式公開支援業務、ビジネスマッチングや三行ビジネス商談会、M&A業務等、事業の立ち上げから継続的な発展まで、様々なライフステージにある企業をサポートする取り組みを行っています。

「タイビジネスセミナー」の開催について

平成21年3月10日、業務提携していますタイのカシコン銀行との共催で、タイビジネスセミナーを開催しました。

カシコンリサーチセンターのエコノミストであるハタイワン女史に、第1部では「2009年のタイ経済見通し」、第2部では「タイ自動車業界動向」と題し、タイの最新情報をご説明いただきました。

岐阜県・愛知県のお取引先を中心に約40名のお客様が、興味深く聞き入られました。





産学連携による取り組み

当行は、愛知大学と、地域経済の活性化等に資するため産学連携活動を実施することに合意し、平成20年10月17日に「産学連携に関する協定書」を締結いたしました。

この協定を受けて、当行の取引先をはじめ地域の企業や自治体等が抱える課題やニーズに対して愛知大学が科学の知見を活用した調査研究を行い、対象先に解決策を提言するため、当行と愛知大学が連携して地域活性化に向けた事業を推進します。

協定締結による最初の連携事業として“どうなる日本”をメインテーマとする「けいざいタウンフォーラム」を下記の通り3回シリーズで開催しました。



第1回：平成20年11月19日(水)	「日本経済の現状と展望」	愛知大学 経済学部 学部長	栗原 裕 氏
第2回：平成21年 1月27日(火)	「地域の豊かさを育むために」	愛知大学 経済学部 教授	岩崎 正 弥 氏
第3回：平成21年 3月17日(火)	「緊縮財政下の社会福祉～課題と展望～」	愛知大学 経済学部 准教授	西村 正 広 氏

このフォーラムは、我が国の景気後退が急速に進む中、愛知大学経済学部の教授陣に毎回様々なテーマで講演をいただき、日本経済のこれからの展望をご来場の皆様と一緒に考える機会としました。

十六銀行と愛知大学の両者は、このプロジェクトを機に今後も岐阜県、愛知県内の地域振興に繋がる事業を展開し、地域貢献を図っていきます。

地域経済・地域社会への貢献～CSRの取り組み～

「地域づくりシンポジウム～地方の活性化策を探る～」の開催について

当行は、平成20年4月10日に名古屋市立大学と産学連携協定を締結し、その活動の第一弾として「下呂温泉活性化プロジェクト」を立ち上げて活動してきました。

このプロジェクトは、名市大のもつ経済学における知見を活用して、下呂温泉街をとりまく状況を調査分析し、最終的には両者で下呂温泉活性化のための提言を行うものです。

平成21年3月に本プロジェクトが終了するにあたり、2月19日にプリンセスガーデンホテル（名古屋市中区）において、このプロジェクトの成果報告会を兼ねた「地域づくりシンポジウム」を開催しました。

このシンポジウムは“地域づくり”をメインテーマとして、様々な観点から地方の活性化策について考える場の提供を目的とし、大阪市立大学から創造都市研究を専門とする佐々木雅幸教授をお招きし、「文化資源を活用したまちおこし」と題する講演を行ったほか、下呂温泉活性化プロジェクトのメンバーによるパネルディスカッションを行いました。

当日は、定員の100名を大幅に超えて、行政関係者をはじめ各業界から約150名の方が来場され、参加者は下呂の今後の活性化への期待とこれからの各地方における活性化策の参考にしようとする熱心に聴講いただきました。

また、会場内に下呂の特産品を紹介するコーナーを設け、さらに懇親会場では“コシヒカリを超えるおいしい米”として売り出し中の【龍の瞳】や地元名産の【鶏ちゃん】の試食のほか地酒・トマトジュースの試飲も行い、下呂のPRに役立てていただきました。



中小企業支援緊急対策「じゅうろく緊急休日相談窓口」の設置について

当行は、現在の厳しい経済情勢を踏まえ、個人事業主や中小企業の皆様からの資金繰り等のご相談に対応するため、「じゅうろく緊急休日相談窓口」を設置いたしました。相談窓口は、岐阜・名古屋の2会場において、年末年始5日間、年度末2日間開催しました。

今後も、資金調達に関するご相談の機会を増やすことで、中小企業金融のさらなる円滑化に繋がってまいります。

✳️ 環境保全活動

地球環境問題は社会全体で取り組んで行く大きな問題であり、当行は金融機関としての企業活動を通じて環境保全活動に努めてまいります。

ISO環境活動の内容

当行は本店ビルおよび事務センターにおいてISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得し、以下のような改善活動に継続的に取り組んでおります。

✳️ 省エネルギー・省資源の推進

電力使用量の削減

- 照明・事務機器のこまめな節電
- 空調設定温度の厳守
- クールビズ（夏の軽装勤務）の実施

コピー用紙使用量の削減

- 会議資料等の簡素化
- 行内パソコンネットワークの活用
- 使用枚数の月次チェック



環境マネジメントシステム審査登録証

✳️ 紙類のリサイクル推進

紙のリサイクルは資源の有効利用に大きく貢献します。各職場から排出される紙類の分別回収を徹底し、再生可能な紙類は製紙会社へ持ち込み、製紙原料として再生されています。

✳️ 環境対応型金融商品の取り扱い

「エブリサポート21」（環境問題対応支援ローン）、「じゅうろくエコローン」（マイカーエコプラン、住宅エコプラン）など、環境問題に配慮した金融商品を取り扱っています。

平成20年10月から12月にかけて「じゅうろくエコ定期預金キャンペーン」を実施いたしました。本定期預金残高の0.01%（最大350万円）を当行から岐阜県、愛知県の地球温暖化防止活動推進センターへ寄付を行い、地域の環境保全活動のために利用していただきます。

✳️ ISO認証取得に関する情報提供

ISO認証取得を目指すお取引先へISOに関する情報を提供しています。

✳️ グリーン購入の推進

事務用品・広告宣伝品等について、価格や品質だけではなく、環境負荷のできるだけ小さい製品を優先して購入するグリーン購入を推進しています。



社会貢献活動

卓球部の活躍 ～地域の皆様に愛されるチーム作りを目指して～

当行卓球部は昭和55年創部以来、皆様の温かいご支援のもと地道な努力を重ね、今では日本のトップチームとして認められるまでになりました。

平成24年に開催される「ぎふ清流国体」に向けてジュニア層の強化と普及活動を積極的に行っています。



「十六銀行地域社会貢献推進委員会」の活動

活動10年目を迎え、十六グループ会社役職員が一体となり、地域社会への積極的な貢献活動に取り組んでいます。

平成20年4月には「十六銀行栗野グランドサッカー場」を整備し、財団法人岐阜県サッカー協会を通じて、ジュニア向けの競技施設として活用しています。また、同年からU-11（11歳以下）を対象とした「じゅうろくカップU-11サッカー大会」を開催しています。

このほかにも、毎年、「長良川を美しくしよう運動」等の清掃活動をはじめ、「集団献血」ならびに「地域のまつり」等々に参加しています。



公益財団法人十六地域振興財団の活動

十六地域振興財団は、十六銀行創立120周年記念事業として設立された財団で、地域の皆様が取り込まれる地域活性化事業活動を助成金により支援しております。平成19年度には十六銀行創立130周年記念事業として奨学金制度を創設し、若い世代の学業の応援を開始しており、平成21年度の募集では、20名程度の奨学生を2月2日から4月7日にかけて募集しましたところ、272名からのご応募がありました。

また、平成21年3月には岐阜県から公益性の高い財団に認定され、4月からは「公益財団法人」としてスタートしております。





じゅうろく芸術劇場「プロムナードコンサート」の開催

地域の皆様に芸術・文化に触れていただく機会を提供することを目的として、平成20年12月16日に室内オーケストラ「オーケストラ・アンサンブル金沢」のほかすてきなゲストをお迎えして長良川国際会議場で開催し、800組1,600名をご招待しました。



ワークライフバランス実現に向けた取り組みについて

生活（家事・育児・介護など）とのバランスを図りながら仕事をやる「ワークライフバランス」に関する社内環境整備を目的に、平成21年3月11日、本店3F大会議室において社内セミナーを開催しました。講師にワークライフバランスコンサルタントの大塚万紀子氏をお招きし、「明日からできる働き方のコツ ワーク・ライフ・バランスで人生を豊かに」と題する講演を行いました。

当行は、平成20年度「ぎふ仕事と生活の調和推進会議」において、ワークライフバランスの「推進モデル企業」に選定されており、今後も仕事と生活の調和の取れた職場づくりをめざします。



地域経済・地域社会への貢献～CSRの取り組み～

＊トピックス

緑支店の新設について

平成21年3月26日に緑支店が、愛知県下38番目の店舗として、11年ぶりに新設オープンいたしました。

建物は、多治見タイルとカーテンウォールの組合せにより、落ち着いた雰囲気の外観となっており、ゆったりとした駐車場（25台 うち身障者用2台）を店舗の両側に完備しています。

また店内には、身障者対応トイレ、視覚障害者対応ATM、腰掛け付き記帳台などを配置することにより、すべてのお客様に優しい店舗となっています。



十六半田ローンサービスセンターの設置について

平成21年1月26日、半田市内に愛知県では11ヶ所目となる「半田ローンサービスセンター」が新規にオープンいたしました。知多地域では初めての設置となります。

設置場所は、名鉄河和線青山駅近く、半田ICへのアクセスも便利な所にあります。

平日のみならず、日曜日（第1、第3日曜日）も営業し、お客様や不動産・住宅業者からの住宅ローンのご相談ニーズに積極的にお応えいたします。



岐阜銀行との業務資本提携契約締結について

本年1月に、「地域金融の安定化・円滑化」、「収益基盤の拡大」、「経営効率の向上」を図り、岐阜県を中心とした東海地区における地域社会／経済への発展に貢献することを目的として、株式会社岐阜銀行と業務資本提携契約を締結いたしました。

今後は、両行にて設置した業務提携検討委員会において、地域のお客様の利便性向上に繋がるような施策等について検討をすすめてまいります。

セブン銀行ATMの利用手数料の引き下げについて

平成21年2月2日より、セブン銀行ATMでお引出しをご利用いただく際の手数料を一律105円引き下げいたしました。

これにより、当行のキャッシュカード（磁気ストライプ型）をお持ちのお客様は、セブン銀行ATMで、平日日中0円、それ以外の時間帯は105円でご利用いただけるようになりました。

また、「じゅうろくICキャッシュカード」をお持ちのお客様は、セブン銀行ATMでも24時間・365日、いつでも無料でご利用いただけるようになりました（「じゅうろくICキャッシュカード」は当行ATMもいつでも無料でご利用いただけます）。

セブン銀行のご利用時間および引き下げ後のご利用手数料

（十六銀行キャッシュカードによるセブン銀行ATMでのサービス内容）

		0:00	7:00	8:00	8:45	18:00	21:00	24:00	
お引出し 残高照会*	平日	0円							
	土曜	105円 (ICカードは0円)				取扱なし			
	日曜	取扱なし							
お預入れ	平日	0円							
	土曜	取扱なし				取扱なし			
	日曜	取扱なし							

（消費税等含む）

*月曜日の「0:00～7:00」はご利用いただけません。

*祝日は当該曜日のサービス時間帯にてご利用いただけます。ただし、お引出しについては終日105円の手数料が必要となります（ICキャッシュカードご利用時は無料です）。

*12/31～1/3、5/3～5/5は「8:45～21:00」にご利用いただけます（12/31、5/3のサービス開始時刻が異なる場合があります）。ただし、お引出しについては、終日、ご利用手数料105円が必要となります（ICキャッシュカードご利用時は無料です）。

*残高照会は「お引出し」と同一サービス時間に無料でご利用いただけます。

各種サービスに関するお知らせ

★ ATMネットワーク／キャッシュカードに関するQ&A／各種お問い合わせ

ATMネットワーク

お客様が平日・休日問わず、どこでもお取引ができるよう、さまざまなチャネル、サービスを充実することで利便性の向上に努めています。

十六銀行のATM

当行のATMは年中無休でご利用いただけるのはもちろんのこと、すべてのサービスを原則21時まで提供しています。

提携金融機関とのATM相互無料開放

当行のキャッシュカードは、提携金融機関のATMにおいて、下表に記載されているお取引を他行利用手数料「無料」でご利用いただけます。

コンビニATM「セブン銀行」・「イーネット」

当行のキャッシュカードは、コンビニATM「セブン銀行」「イーネット」で「お引出し」「お預入れ」「残高照会」をご利用いただけます。

イオン銀行とのATM提携

当行のキャッシュカードは、イオン銀行のATMで「お引出し」「お振込み」「残高照会」をご利用いただけます。

ゆうちょ銀行とのATM提携

当行のキャッシュカードは、ゆうちょ銀行のATMで「お引出し」「お預入れ」「残高照会」をご利用いただけます。

〈提携金融機関ATMでのサービス内容〉

	お引出し	お振込み	お預入れ	残高照会
名古屋・愛知・百五銀行のATM	○	○	○	○
岐阜・大垣・高山・東濃・関・八幡・西濃信用金庫・飛騨・益田信用組合、岐阜・中京銀行のATM	○	○	—	○
三菱東京UFJ銀行、岐阜商工信用組合のATM	○	—	—	○

※時間外の「お引出し」「お振込み」には各提携金融機関所定の手数料が必要です。

※三菱東京UFJ銀行では他行利用手数料有料にてお振込みをご利用いただけます。

〈セブン銀行・イーネット、イオン銀行、ゆうちょ銀行ATMでのサービス内容〉

	お引出し	お振込み	お預入れ	残高照会
コンビニATM「セブン銀行」・「イーネット」	○	—	○	○
イオン銀行のATM	○	○	—	○
ゆうちょ銀行のATM	○	—	○	○

※所定のご利用手数料が必要な場合があります。

キャッシュカードに関するQ&A

◇ キャッシュカードをなくした時は？

- A** (1) すぐにお取引店かその他の十六銀行本支店、または、以下のフリーダイヤルまでご連絡ください。ご連絡があり次第、そのカードが使われないように手続きいたします。

ご連絡先

①月～金曜日（祝日及び12/31～1/3を除く）
：9時00分～17時30分

お取引店かその他の十六銀行本支店

②上記受付時間外及び土・日・祝日
0120-69-5416

- (2) 正式届出と再発行手続きのため、次のものをお持ちのうえ、お取引店かその他の十六銀行本支店の窓口までご本人がお越しください。

①通帳 ②届出の印鑑

③ご本人であることが確認できる資料
(運転免許証、パスポート等)

◇ キャッシュカード支払限度額を変更したい時は？

- A** キャッシュカードの1日あたりのカード支払限度額は200万円となっていますが、1万円以上200万円以内（1万円単位）で自由に変更できます。
次のものをお持ちのうえ、お取引店かその他の十六銀行本支店の窓口までご本人がお越しください。

- (1) 通帳及びキャッシュカード（限度額引下げの場合には何れかで結構です。）
- (2) 届出の印鑑
- (3) ご本人であることが確認できる資料
(運転免許証、パスポート等)

◇ キャッシュカードの暗証番号を変更したい時は？

- A** 当行ATMで変更の手続きができます。



各種お問い合わせ先

キャッシュカードサービスに関するご連絡先

内容	電話番号	受付時間
各種キャッシュカードサービスに関するお問い合わせ	0120-69-5416	月曜日7:00～土曜日21:00 日曜日8:45～21:00
キャッシュカードを盗難・紛失された場合のご連絡		24時間365日

各種お問い合わせ先

内容	電話番号	受付時間
商品・サービス・キャンペーンに関するお問い合わせ	0120-50-8616* (0584-77-1605)	月曜日～金曜日9:00～19:00 土曜日・日曜日9:00～17:00 (祝日及び12/31～1/3を除く)
ローンに関するお問い合わせ		月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日及び12/31～1/3を除く)
年金に関するお問い合わせ		月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日及び12/31～1/3を除く)
インターネットバンキングに関するお問い合わせ		月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日及び12/31～1/3を除く)
資産運用に関するご相談・金融商品仲介に関するお問い合わせ	0120-438-016 (058-266-4316)	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日及び12/31～1/3を除く)
外国為替相場に関するお問い合わせ	0120-1616-92 ●携帯電話・PHS利用不可	24時間365日(自動音声)
住まいづくり友の会に関するお問い合わせ	0120-2039-16 (058-266-2521)	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日及び12/31～1/3を除く)
NOBUNAGA21への入会申し込み、お問い合わせ	0120-0817-16 (058-266-2672)	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日及び12/31～1/3を除く)

※自動音声案内に従って、ご希望のサービス番号と☑を押してください。

※携帯電話・PHSからご利用の場合、または、岐阜県・愛知県以外の地域からご利用の場合は、()内の番号へおかけください。(通話料有料です)

サービス

内容	電話番号	受付時間
ワールドマネーサービス(外貨両替予約サービス)	0120-50-8616* (0584-77-1605)	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日及び12/31～1/3を除く)
Q-LOAN(カードローン)のお申し込み、お問い合わせ	0120-316-919	月曜日～金曜日8:00～21:00 土曜日・日曜日・祝日8:00～18:00(12/31～1/3を除く)

※自動音声案内に従って、サービス番号☑と☑を押してください。

※携帯電話・PHSからご利用の場合、または、岐阜県・愛知県以外の地域からご利用の場合は、()内の番号へおかけください。(通話料有料です)

振り込め詐欺救済法に関するお問い合わせ先

内容	電話番号	受付時間
振り込め詐欺救済法に関するお問い合わせ	0120-017316	月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日及び12/31～1/3を除く)

十六グループのご紹介

会社名	所在地	業務内容	設立年月日
十六ビジネスサービス(株)	岐阜市中竹屋町34番地 (058)266-2682	事務受託業務	昭和54年 1月16日
(株)十六ディーシーカード	岐阜市神田町7丁目12番地 (058)263-1116	クレジットカード業務	昭和57年 8月13日
(株)十六ジェーシービー	岐阜市神田町7丁目12番地 (058)265-3316	クレジットカード業務	平成 6年11月10日
十六リース(株)	岐阜市神田町7丁目12番地 (058)262-3116	リース業務	昭和50年 3月11日
十六コンピュータサービス(株)	岐阜市神田町7丁目12番地 (058)262-1116	コンピュータ関連業務	昭和60年 8月 1日
十六信用保証(株)	岐阜市神田町7丁目12番地 (058)266-1616	信用保証業務	昭和54年 5月23日
十六キャピタル(株)	岐阜市神田町7丁目12番地 (058)264-7716	投融資業務	昭和59年 4月27日

財務諸表 (単体)

第234期末貸借対照表 (平成21年3月31日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け	101,447
現金	57,342
預け	44,105
商品有価証券	1,666
商品国債	1,634
商品地方債	32
有価証券	844,835
国債	385,764
地方債	125,908
社債	145,474
株	120,769
その他の証券	66,919
貸出金	3,056,008
割引手形	39,905
手形貸付	213,852
証書貸付	2,335,358
当座貸越	466,892
外国為替	3,909
外国他店預け	1,620
買入外国為替	1,531
取立外国為替	757
その他の資産	43,481
未決済為替貸	1
前払費用	41
未収収益	5,015
金融派生商品	18,559
その他の資産	19,863
有形固定資産	64,219
建物	14,016
土地	45,080
建設仮勘定	300
その他の有形固定資産	4,822
無形固定資産	8,066
ソフトウェア	7,504
その他の無形固定資産	561
繰延税金資産	31,186
支払承諾見返	26,020
貸倒引当金	△ 55,307
資産の部合計	4,125,534

(単位: 百万円)

科目	金額
(負債の部)	
預金	3,745,652
当座預金	208,428
普通預金	1,472,929
貯蓄預金	117,133
通知預金	31,362
定期預金	1,828,964
その他の預金	86,834
譲渡性預金	23,227
コールマネー	25,982
債券貸借取引受入担保金	15,047
借入金	21,929
借入	21,929
外国為替	574
売渡外国為替	427
未払外国為替	147
社債	30,000
その他の負債	35,095
未決済為替借	36
未払法人税等	34
未払費用	8,301
前受収益	3,301
従業員預り金	2,199
金融派生商品	17,900
その他の負債	3,320
賞与引当金	1,374
退職給付引当金	7,243
役員退職慰労引当金	455
睡眠預金払戻損失引当金	378
偶発損失引当金	1,400
再評価に係る繰延税金負債	10,402
支払承諾	26,020
負債の部合計	3,944,785
(純資産の部)	
資本	36,839
資本剰余金	25,366
資本準備金	25,366
利益剰余金	103,478
利益準備金	20,154
その他の利益剰余金	83,323
別途積立金	91,700
繰越利益剰余金	△ 8,376
自己株式	△ 1,515
株主資本合計	164,168
その他の有価証券評価差額金	3,880
土地再評価差額	12,699
評価・換算差額等合計	16,579
純資産の部合計	180,748
負債及び純資産の部合計	4,125,534

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

第234期損益計算書 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	90,379
資金運用収益	74,407
貸出金利息	60,711
有価証券利息配当金	13,309
コールローン利息	157
預け金利息	0
その他の受入利息	228
役務取引等収益	11,526
受入為替手数料	4,315
その他の役務収益	7,211
その他業務収益	2,122
外国為替売買益	1,180
国債等債券売却益	918
その他の業務収益	22
その他経常収益	2,323
株式等売却益	317
金銭の信託運用益	203
その他の経常収益	1,802
経常費用	106,985
資金調達費用	12,102
預金利息	10,306
譲渡性預金利息	188
コールマネー利息	479
債券貸借取引支払利息	122
借入金利息	423
社債利息	552
その他の支払利息	29
役務取引等費用	4,422
支払為替手数料	910
その他の役務費用	3,511
その他業務費用	7,392
商品有価証券売買損	39
国債等債券売却損	4,679
国債等債券償還損	152
国債等債券償却	1,408
金融派生商品費用	1,111
営業経費	49,640
その他経常費用	33,428
貸倒引当金繰入額	14,472
貸出金償却	545
株式等売却損	5,069
株式等償却	9,164
金銭の信託運用損	19
その他の経常費用	4,155
経常損失	16,606

(単位：百万円)

科目	金額
特別利益	34
固定資産処分益	14
償却債権取立益	19
特別損失	145
固定資産処分損	118
減損損失	27
税引前当期純損失	16,717
法人税、住民税及び事業税	66
法人税等調整額	△7,238
法人税等調整計	△7,171
当期純損失	9,545

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



用語説明

資産の部

お客様へのご融資である「貸出金」、債券や株式等の「有価証券」など主に資金の運用状況を表しています。

負債の部

お客様からお預かりしている「預金」、「譲渡性預金」、「借入金」など、主に資金の調達状況を表しています。

純資産の部

株主の皆様からの出資金である「資本金」やこれまでの利益の蓄積である「利益剰余金」などの総額を表しています。

財務諸表 (連結)

連結貸借対照表 (平成21年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け	101,806
商品有価証券	1,666
有価証券	845,989
貸出金	3,040,398
外国為替	3,909
リース債権及びリース投資資産	46,026
その他の資産	60,128
有形固定資産	67,550
建物	14,527
土地	47,357
建設仮勘定	300
その他の有形固定資産	5,365
無形固定資産	8,388
ソフトウェア	7,815
その他の無形固定資産	573
繰延税金資産	33,286
支払引当金	27,442
負債倒引当金	△ 60,477
資産の部合計	4,176,115

(単位:百万円)

科 目	金 額
(負債の部)	
預渡性預金	3,733,204
コーマネー及び売渡手形	18,227
債券貸借取引受入担保	25,982
借入金	15,047
外国為替	49,349
社債	574
その他の負債	30,000
賞与引当金	52,797
役員賞与引当金	1,469
退職給付引当金	19
役員退職慰労引当金	7,284
睡眠預金払戻引当金	461
偶発損失引当金	378
繰延税金負債	1,575
再評価に係る繰延税金負債	8
支払引当金	10,402
負債の部合計	27,442
(純資産の部)	
資本	39,742,228
資本剰余金	36,839
利益剰余金	25,357
自己株式	105,471
株主資本合計	△ 1,276
その他の有価証券評価差額	166,392
土地再評価差額	3,888
評価・換算差額合計	12,699
少数株主持分	16,588
純資産の部合計	18,907
負債及び純資産の部合計	201,887
	4,176,115

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	115,684
資金運用収益	74,918
貸出金利	61,176
有価証券利息配当金	13,327
コールローン利息及び買入手形利息	157
預け金利息	0
その他の受入利息	255
役員取引等収益	14,935
その他業務収益	23,516
その他経常収益	2,315
経常費用	130,370
資金調達費用	12,456
預金利息	10,288
譲渡性預金利息	177
コールマネー利息及び売渡手形利息	479
債券貸借取引支払利息	122
借入金利息	794
社債利息	552
その他の支払利息	42
役員取引等費用	4,639
その他業務費用	25,380
営業経費	52,547
その他経常費用	35,347
貸倒引当金繰入額	16,230
その他の経常費用	19,117
経常損失	14,685
特別利益	105
固定資産処分益	14
償却債権取立益	23
偶発損失引当金戻入益	67
特別損失	148
固定資産処分損失	120
減損損失	27
その他の特別損失	1
税金等調整前当期純損失	14,728
法人税、住民税及び事業税	1,155
法人税等調整額	△ 7,582
法人税等合計	△ 6,426
少数株主利益	1,084
当期純損失	9,386

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式事務のご案内・株式の状況



株式事務のご案内

※ 決算日

毎年3月31日に決算を行います。

※ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

※ 配当金

期末配当は、毎年3月31日を基準日として、定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日として、同様の方法によりお支払いいたします。

※ 基準日

定時株主総会については毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

※ 公告方法

電子公告といたします。

インターネットホームページ <http://www.juroku.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および岐阜市において発行する岐阜新聞に掲載して行います。

※ 株式事務取扱場所

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先・郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話 0120-232-7111(通話料無料)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式の状況 (平成21年3月31日現在)

※ 資本金

36,839,102,011 円

※ 株式の数

発行可能株式総数 460,000,000 株

発行済株式の総数 366,855,449 株

※ 株主数

15,557 名

株主優待のご案内

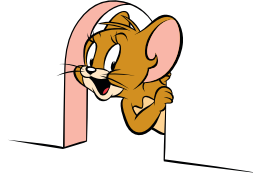
毎年3月31日現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し、ナチュラルミネラルウォーター1箱(500ml・24本入)を贈呈いたします。



1単元(1,000株)に満たない株式をご所有の株主様へ

「単元未満株式の買増請求制度」と「単元未満株式の買取請求制度」のいずれかをご利用いただけます。

- 単元未満株式の買増請求制度とは、1単元（1,000株）に満たない株式を有する株主様が、当行から1単元に不足している株式を買増し、1単元の株式にできる制度です。
- 単元未満株式の買取請求制度とは、当行が株主様から、1単元（1,000株）に満たない株式を買取りさせていただく制度です。
- いずれの手続きも、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）においてお受けしております。特別口座に記録された株式につきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行においてお受けしております。
- 買増請求につきましては、毎年3月31日および9月30日のそれぞれ10営業日前から当該日までの期間は受付を停止いたします。



JUROKU BANK

www.juroku.co.jp/



このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した
植物性大豆油インキを使用しております。

十六銀行ミニディスクロージャー誌

平成21年6月発行

株式会社 十六銀行

岐阜市神田町8丁目26 TEL (058)265-2111